

		チェック項目	はい	いいえ	ご意見
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2	部屋が狭く、時々訓練等しにくいと思う時がある。 2 静の活動、動の活動に分けて学習スペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6		3、4人は配置している。
	3	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1	玄関入り口が階段になっており、バリアフリーにはなっていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2	
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2	2月に開所したばかりで今回初めてアンケートを行っている。 2 保護者の意見を取り入れ、利用児が過ごしやすい事業運営を行っている。
	6	この自己評価結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	5	1	ホームページで公開している。 1 毎年公開されている
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1	1 保護者にも評価して頂き改善に心掛けたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		積極的に行っている。 強度行動障害、サービス管理責任者等の研修を受講した。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	1	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	

適切な支援提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	職員で話し合い行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	6		職員で話し合い行っている。 手作りのおもちゃや課題を職員が作って利用児さんに合わせて支援している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	その日、もしくは、余裕をもって担当の職員を決めて課題を決めている。 クッキングや制作など、年齢等に応じた課題、活動を行って支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	5	1	集団活動には弱いと感じる
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		朝から必ず打ち合わせを行っている。 朝礼の際に、特に注意をはらい対応する利用児、1対1で支援しなければならない利用児の担当を決めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	帰る前に必ず振り返りを行っている。 その日の利用児が、なぜその行動になったのか、職員で情報提供をしている。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		毎日記録をとっている。 利用児の一日を記録し、次の日から改善できることは実行できるよう、職員間で情報を伝えながら、アドバイスをもらいながら検討している。
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1	定期的にモニタリングを行っている。 利用児が改善できている部分は、次のステップに進めるように話し合いを行い判断されている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		児童貼った支援管理責任者が参画している。

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6		学校の下校時刻や行事など、毎月ホームページや保護者等に確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	1	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	
	24	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	まだ対象児はおられないが、メモやモニタリングなどを行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けいるか	6		管理者が定期的に連絡を取り、利用児の支援に対し助言を頂いている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	4	医療的ケアが必要な子どもさんが通われていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	3	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		その日の1日を分かりやすく連絡帳に記入し、口頭でもどんな様子だったのか、どんな遊びをしたかを伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	2	保護者様にストレートに話すのではなく、言葉に配慮してお伝えするようにしている。
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	コロナ禍でなかなか活動する機会がない。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		保護者様のお話は十分に聞くよう努めている。送迎の時や、保護者の方がお迎えに来られた時などに、家での様子を聞いたり、事業所での様子や対応を伝えている。新型コロナウイルス感染症を理由に来所出来ない場合は電話支援を行った。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		利用児同士で何かあった場合はすぐにご家族に状況等を説明し誠意を持ち対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	広報の発行はないが、ホームページで公開している。月に4回ほどミーティングを行い、来月の土曜日の行事を話し合いお知らせを発行し配布している。
	35	個人情報に十分配慮しているか	5	1	勤務外では利用児についての話は職員同士であっても控えるようにしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		手話、絵カードのスケジュールなど、利用児の特性に応じて対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	避難訓練は行っている。消火器の位置を把握している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	研修に参加している。

の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	3	3	身体拘束を行う子どもさんが通われていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3	食物アレルギーのある子どもさんが通われていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	ヒヤットした場合は都度作成している。